



The History Wedding



1. CONCEPT

2. ITEM

3. ESTIMATE

Concept Story

Hiroshi × Yasuko

Hiroshiさんは29歳、神戸市出身、国家公務員。

幼少の時から女手ひとつで育てられ、お母様は一所懸命、夜遅くまで働かれていらっしゃいました。

そのお母様の背中を見て、寂しい気持ちを我慢していたHiroshiさん。

近所の方々やご友人、そのご家族の方々など、よく夕食をご馳走になるなど、

非常に多くの方々を支えられ、今はお世話になった方々へ恩返しをするべく、

国家公務員として活躍されています。好きなものは、お酒。酔うと熱く語りだすそう。

Yasukoさんは28歳、福岡出身、保険会社で事務の仕事をされています。

責任感が強く、中学生・高校生と、学級委員や生徒会で活動するなど、自他ともに認める優等生タイプ。

東京にきたのは、大学生の時。

お母様からは心配されたそうですが、初めてお母様の反対を押し切った出来事だったそうで、

あの時のことをどう想っているのか、少しひっかかりがあるとのこと。

趣味は歴史的建造物を巡ること。中でも東京タワーが大好きで、展望台に上って景色を見るのがお気に入り。そして、もう1つ好きなものが、お酒。酔ったことが無いというほど、お強いそうです。

そんなおふたりが出会ったのは、2年前。友人が主催した飲み会で意気投合したのがきっかけ。

その時は、酔ったHiroshiさんが熱く日本のことを語りだし、酔わないYasukoさんが笑顔で

その話をずっと聞かれていたそうです。

Yasukoさんは、Hiroshiさんの、心優しく、何事も辛抱強く、

「人のために働きたい」という動機で仕事をされる姿勢に魅かれたそう。

Hiroshiさんは、Yasukoさんの、天真爛漫で、愛嬌のある雰囲気魅かれたそうです。

ふたりでは、古戦場や各地のお城を巡ってよく旅行をするそうで、

特に東京タワーの展望台へは何度行ったかはわからないほど。

Concept Story

そんなおふたりに相応しいconceptは、

“歴史をかさねる”

ふたりの歴史
親御様との歴史
ゲストの歴史
全員の歴史

歴史から生まれる想い=共感を
かさねあいながら、
列席されるゲストひとりひとりの
これからの歴史にかさねていきます



Original Point

- I. 拳式で、ふたりとお母様との歴史をかさねる**
- II. 料理で、ふたりとゲストとの歴史をかさねる**
- III. ケーキで、ふたりと社会との歴史をかさねる**

I. 挙式で、ふたりとお母様との歴史をかさねる

東京タワーの誕生は1958年12月。

今年で58歳を迎えるYasukoさんのお母様と同年同月。

東京タワーは、Yasukoさんが大好きな場所、Hiroshiさんとの思い出の場所であるのと同時に、北海道のお母さまが東京でもYasukoさんのことを見守ってくれていると感じさせてくれる存在なのです。

東京に行くことを心配したお母さまと、この気持ちをシェアして、ふたりの結婚を見届けてもらいたい。

場所は、都心の絶景が自慢のレストラン。

東京タワーなど東京の名所がすべて見える抜群のロケーションと、アクセスの利便性を有する会場。遠方からお越しになるおふたりのゲストの方々もストレスなく参加できるでしょう。

お母様は、専用エレベーターを使って高層階へあがるときの高揚感から、

おふたりが大好きな東京タワーから眺めているかのような景色を体験いただきます。

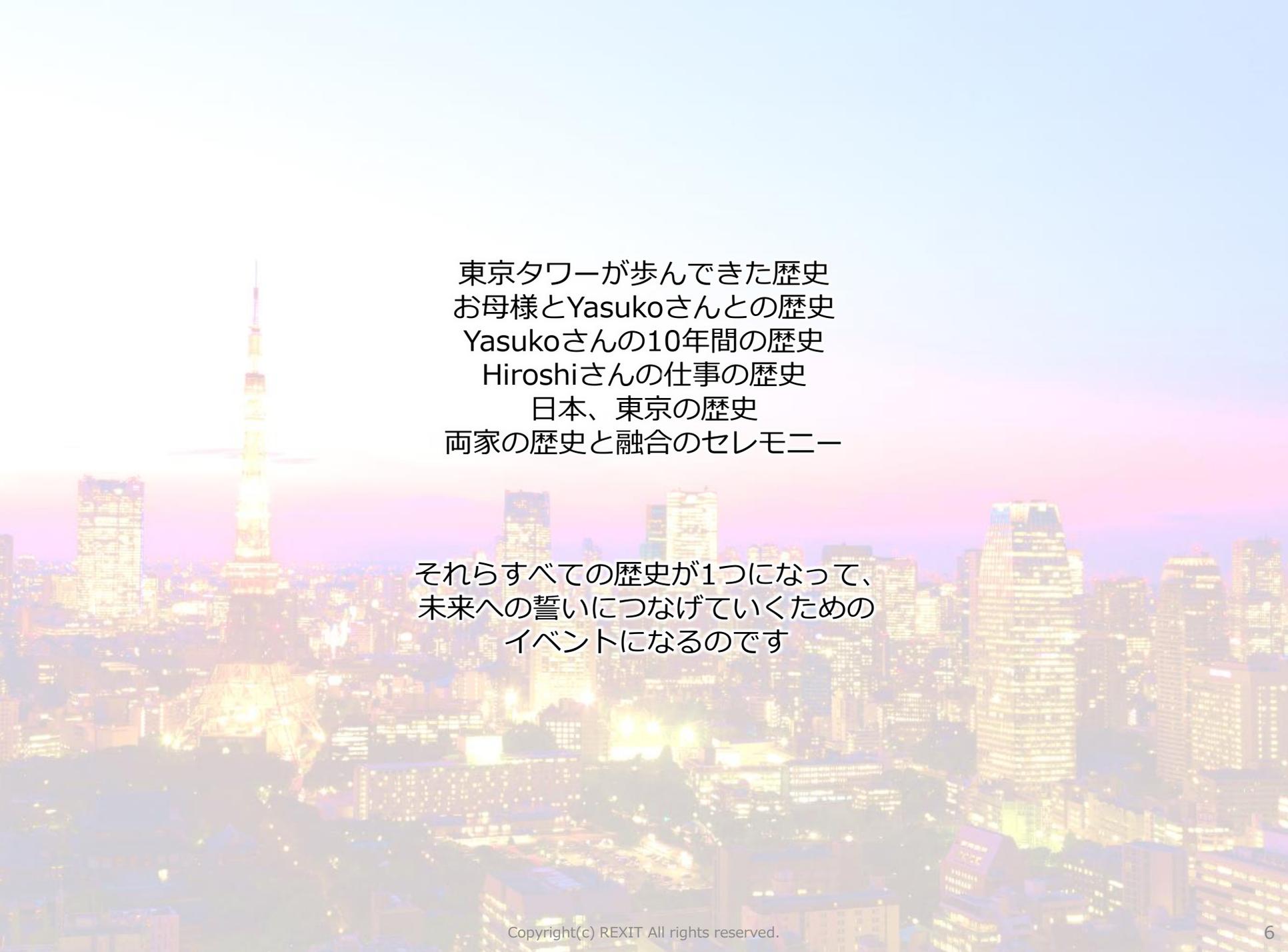
それはまるで、東京でのYasukoさんの経験を、シェアしているかのような。

挙式の時にふたりを包み込む景色は、Hiroshiさんが縁の下の力持ちとして支える日本の人々が、長い歴史でつくりあげられてきたもの。

人前式は古代から伝わる『水合わせの儀』を、おふたりの大好きな日本酒で行います。

水合わせの儀とは古代から伝わる儀式の一つ。

新郎新婦の汲んできた互いの実家の水をひとつの杯に注ぎ合わせて飲むという儀式のことで、両家の歴史を合わせる象徴的なセレモニーになるでしょう。



東京タワーが歩んできた歴史
お母様とYasukoさんとの歴史
Yasukoさんの10年間の歴史
Hiroshiさんの仕事の歴史
日本、東京の歴史
両家の歴史と融合のセレモニー

それらすべての歴史が1つになって、
未来への誓いにつなげていくための
イベントになるのです

Ⅱ.料理で、ふたりとゲストの歴史をかさねる

Hiroshiさんは幼少の時から女手ひとつで育てられ、お母様は一所懸命、夜遅くまで働かれてらっしゃいました。そのお母様の背中を見て、寂しい気持ちを我慢していたHiroshiさん。近所の方々や友人、そのご家族など非常に多くの方々に支えられ、時には夕食を近所の皆さままで共にすることも。

お母様が家にいらっしゃる際にはその御礼にお招きする機会が増え、Hiroshiさんとお母様でご飯を食べるときは、誰かがいることが多かったそうです。そして人気だったのは、ロールキャベツ。

ロールキャベツは、Hiroshiさんとお母様、そして、お世話になった方々との歴史の象徴。あの日のロールキャベツを、コース料理の前菜で表現することで、ふたりとお母様、そしてそれを知るゲストの方々の歴史がかさなり、懐かしい空気が会場に流れます。

また、神戸出身のHiroshiさんからは神戸牛を肉料理に、北海道出身のYasukoさんからはイクラとサーモンを魚料理に取り入れましょう。

ここでは高校、大学と一緒に過ごした仲間との歴史が走馬灯のように思い出され、時間が巻き戻ったかのように懐かしい空気が会場を包みこむでしょう。

そして、両家を育くんできた食材を結婚式に出し合うことで、食を通じて、両家でお互いの歴史を知ることもできます。

食事の場面には、必ず誰かがいるもの

関わった方々と思い出に
残っているメニューをともにし、
それぞれの道をあゆんできた
おふたりの産地のお料理を
振る舞いあうこと

それはまさに歴史をかさねあい、
参列されるゲストの新しい歴史に
記録される日となります

そして、どれだけ大人になっても、
当時の思い出は変わらないという
想いが、親御様に伝わるはず

Ⅱ.料理で、ふたりとゲストの歴史をかさねる

姫路城の形をしたオリジナルケーキを用意して、おふたりでカットを行いましょう。

姫路城は、小さい頃にHiroshiさんをお母様が連れて行ってくれた思い出の場所。それをモチーフにして、Hiroshiさんからお母様への「ありがとう」を伝える機会にするべく、サプライズで新郎様からお母様へのサンクスバイトをしましょう。

懐かしの姫路城はまるで20以上前に戻った感覚になり、その歴史が、新しい形でHiroshiさんのお母様の歴史に刻まれるはずです。

そして、姫路城は、YasukoさんがHiroshiさんの実家に初めて行った際に、一緒に行った思い出の場所。それまで歴史的建造物に興味の無かったHiroshiさんが、関心をもつようになったのは、Yasukoさんと付き合い始めてからで、ずっとYasukoさんが行きたい場所についていっただけ、でした。

姫路城は、Hiroshiさんが、Yasukoさんに喜んでもらおうと、初めて自分から誘ってくれた場所なのです。

Hiroshiさんにとっては、国家公務員として、日本の歴史を感じ、自分の未来のミッションと重ねあわせ、「人のために働く」という意志を改めて宣言するという意味を。

Yasukoさんにとっては、これから歴史を重ねていく、Hiroshiさんとの大切な1行として刻まれていることを確認する意味を。



歴史をかさねる意味
それは共感

Hiroshiさんの仕事を
リスペクトしているYasukoさん

歴史が好きなYasukoさんから
多くの学びを得ているHiroshiさん

歴史をかさねる結婚式は、
最もふたりらしい時間として、
ゲストの歴史に残ることでしょう



A close-up photograph of two hands clasped together in a supportive grip. The hands are positioned in the center of the frame, with fingers interlaced. The lighting is soft and warm, highlighting the texture of the skin and the rings on the fingers. The background is blurred, showing hints of other people's hands and clothing, suggesting a group setting or a public event.

1. CONCEPT

2. PROGRAM

3. ESTIMATE

Program

11:00

お仕度

- ・ ヘアメイク
- ・ 新郎新婦写真撮影

14:00

挙式

- ・ 親族紹介、親族集合写真
- ・ 人前式

15:00

披露宴

- ・ 披露宴開宴～新郎新婦入場～Wスピーチ～主賓挨拶
- ・ 乾杯
- ・ サンクスバイト(サプライズ)
- ・ 新婦中座～歓談
- ・ 新郎中座～歓談
- ・ 再入場～歓談

17:30

送賓

- ・ 新婦手紙～花束贈呈～謝辞



1. CONCEPT

2. PROGRAM

3. ESTIMATE

Estimate

- 挙式開始時間 : 14:00~
- 披露宴開始時間 : 15:00~17:30
- 人数 : 60名

婚礼お見積明細書

ご新郎 Hiroshi 様 ご新婦 Yasuko 様
 挙式日時
 会場名
 人数 60 名

項目	金額	含まれるもの
料理	1,140,000	フレンチフルコース
ケーキ	120,000	ウエディングケーキ
飲料	328,500	フリードリンク、ウエルカムドリンク、乾杯酒
会場	250,000	
挙式	150,000	人前式
装花	304,000	ブーケ、テーブル装花、贈呈用花束、フラワーシャワー、チャペル装花
美容	150,500	ヘアメイク、ドレス・ヘアメイクチェンジ、アテンド、リハーサルメイク
衣裳	553,000	ドレス2着、タキシード1着、小物一式
写真	180,000	記念写真、スナップ撮影
記録映像	150,000	DVD撮影
映像	195,000	プロフィール、当日エンドロール
引出物	226,600	引出物、引菓子、プチギフト、ペーパーバッグ
演出	130,000	キャンドルリレー、キャンドルサービス
司会	70,000	
音響	70,000	
招待状	20,000	
席次表	44,600	席次表、席札
サービス料	183,850	料理・飲料・会場費の10%
その他	4,000	ゲストブック
総額	4,270,050	
【最小】適用割引額	-500,000	
【最大】適用割引額	-1,000,000	
【最大額】総お見積金額（税抜）	3,770,050	
【最小額】総お見積金額（税抜）	3,270,050	

gensen wedding